

令和2年度 富岡地域ケアプラザPDCAシート_公表用 (事業計画書、事業報告書、事業実績評価)

—総括表—

◆ 事業計画

地域の現状と今後の方向性

○当地域ケアプラザが担当する地区は高齢化が進み、高齢化率は市や金沢区の平均を上回っています。一人暮らしや高齢者世帯の増加も進んでおり、長年活動が続けてきた地域団体やボランティアの高齢化など他地区と同様の悩みがあります。山坂の多さも高齢者を悩ます大きな要因となっています。
○しかし、町内会等地域団体を基礎とする活動は活発に行われており、地域のコミュニティーは確保されています。民生・児童委員などによる福祉保健活動も活発です。そこでこのような地域団体等との情報交換や地域課題を考える各種の会合を通じて人材の発掘確保・地域課題の抽出などに取り組み、必要な支援を地域ともに考えていきます。

今年度の重点的な取組

新規	継続	—具体的な取組内容—
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	ケアプラザ紹介パンフレットを作成し、担当地区内にポスティングすることでケアプラザとその機能についての周知を進めていく。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	5職種協働で、地域の人材資源把握のために「地域情報記録」を作成し、人材資源を事業や地域活動に繋げていく。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	薬局協力による事業開催、セブンイレブンの移動販売など、企業と連携し、地域活動の充実を図っていく過程で地域との関わりを深め、アプローチしていく。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	支え合い連絡会の開催回数を増やすことで地域への関心を持ってもらう機会も増やしていく。地域の情報と課題の共有を重ね、ネットワークの構築を行う。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

◆ 事業報告・事業実績評価

振り返り

コロナ禍にあって、ケアプラザ周知向上のための紹介パンフレットの各戸配布を行うなど、時間も有効に使うことができました。また、薬局の理解のもと、「健康の立ち寄りどころ」や「認知症カフェ」など、地域住民の協力を頂きながら、介護予防や生活支援などに繋がる事業を継続・展開していくこともできました。
包括とコーディネーターとの連携も順調に進み、事業を推進することができましたが、支えあい連絡会の回数増などは、コロナの影響で取り組むことができませんでした。
本年度は事業全般が未曾有のコロナの影響を受けましたが、その中において、着実に一定程度の成果を上げることができたと考えています。

区からのコメント

コロナ禍で地域活動への参加機会が少なくなった中、その時間を活用したパンフレットの全戸配布は、「パンフレットを見て管轄のケアプラザを知った。」「相談に来た。」等の声も挙がっていることからとても有効な周知活動になったと思われます。
また継続実施されている移動販売はコロナ禍において真に安否確認や交流の場となり、そこにケアプラザ全体で関わることから地域情報やニーズの把握等につながる取組が実施されています。
5職種及び、ケアプラザ全体での情報共有や連携がとられており、個別ケースを地域の活動につなげていく事例を丁寧に積み重ねていただいています。薬局との連携や企業の参入など、地域の社会資源についても地域とコミュニケーションをはかりながら進めていただいていますので、今後一層の連携を保ち、地域活動の充実につながることを期待しています。